



PRESS RELEASE

H29年12月5日
日本学生自転車競技連盟

2018年度インカレに関する変更点（案）

日本学生自転車競技連盟は2018年度に開催される「文部科学大臣杯 第74回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（通称：インカレ）」に関する概要を決定しました。

トピックス

- インカレ・トラックレース競技種目として、オリンピック種目である「オムニウム」・「マディソン」を追加（既存の男・女ポイントレース、男子スクラッチはそれぞれ「男子オムニウム」・「女子オムニウム」に統合されます）
- インカレのトラック競技とロード競技の開催日を分離して別日程で開催
- アジア大会日程を考慮して例年日程より1週間程度早めて開催を予定
- インカレを率いるチーム監督はJCF公認チームアテンダント以上の資格が必須

背景

2020オリンピックでは、トラック・中距離種目で学生選手・学生出身選手の活躍が期待されています。五輪競技種目である「オムニウム」「マディソン」をインカレの正式種目として男・女ともに追加することにより、学生選手がより本格的に中距離種目に取り組む機運を醸成し、実践的経験を積む機会を増やしていくことを企図しています。

これにともない、本年まで実施されている「ポイントレース」「スクラッチ」はオムニアムの構成種目として、これに吸収・統合されることとなります。

また、ロードレースにも出場するトラック中距離選手に配慮し、トラック・ロードを別日程の開催とします。

インドネシアで開催されるアジア大会（8/22-23 ロードレース、8/25-31 トラックレース）の日程に合わせ、インカレの日程を8/17-19 トラックレース（伊豆ペドローム）、9/2 ロードレース（長野県大町市美麻地区・予定）とします。

また、インカレ参加チームの監督は従来、審判員資格を含めてJCFライセンス所持者で可としてきましたが、チーム監督の段階的資質向上を目指し、2018年よりJCF公認チームアテンダント資格または日本体育協会指導員・チーム・上級コーチのライセンス所持を必須とします。（JCF競技者ライセンス、審判ライセンスではインカレ時の監督として登録できません）。

この内容に対するお問い合わせ先
日本学生自転車競技連盟
メール：jicf@remus.dti.ne.jp
公式サイト：<http://jicf.info/>